

その仕事、まだ毎回 人がやりますか？

小さな会社が最初に自動化すべき「月10時間業務」

AIは「答える道具」から「仕事を進める仕組み」へ

2026年9月、OpenAIはAIがファイルや複数のツールを使い、数時間から数日間にわたる仕事を進められる仕組みを発表しました。ただし、小さな会社が最初から複雑な自動化を行う必要はありません。毎週・毎月繰り返している仕事を一つ選び、人が確認しながら半自動化することが現実的です。

まずは1業務
小さく試す

01 最初に自動化しやすい仕事

1 同じ形式の資料
見積書・報告書・請求書・定期レポート

2 転記・集計
フォーム回答・顧客情報・売上データの整理

3 繰り返す連絡
受付・開催案内・期限通知・定期フォロー

4 情報収集・整理
ニュース収集・会議要約・問い合わせ分類

5 繰り返す制作
ブログ・SNS・チラシ・動画・営業資料

月10時間 かかる仕事を半分に

1業務で年間約60時間、3業務なら年間約180時間。経営者の時間を営業・顧客対応・商品開発へ戻せます。

02 最初から任せない方がよい仕事

- 経営・契約・採用などの重要な判断
- 顧客ごとに対応が大きく変わる仕事
- 間違えた場合の影響が大きい仕事
- 現在の手順が整理されていない仕事
- 誰も最終確認できない仕事

ポイントは「全部任せない」

AIに作業させ、最後は人が確認する。どこまで任せ、どこから人が判断するかを先に決めます。

03 あなたの会社にもありませんか？

- ☐ 毎週・毎月、同じ作業を繰り返している
- ☐ コピー＆ペーストや転記が多い
- ☐ 同じ文章や資料を何度も作っている
- ☐ 特定の社員しか手順を知らない
- ☐ 判断より準備に時間がかかっている

3つ以上なら、自動化を検討する価値があります。

「この仕事は自動化できますか？」からご相談ください

サンプレスコンサルティングでは、現在の仕事の流れを確認し、今すぐ自動化できる部分、先に整理が必要な部分、人が確認すべき部分を分けて考えます。大がかりなシステムではなく、一つの定型業務から試すことも可能です。内容を確認したうえで、実現方法と必要な費用をご案内します。